

No.1143 2018 年 10 月 22 日

10 月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年 10 月 1 日から 10 月 31 日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波の受信障害の防止に向けた活動を集中的に展開しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします（詳細は ARIB ニュース No.1137 2018 年 9 月 10 日を参照ください）。

ARIBの動き

CEATEC JAPAN 2018 に出展

10 月 16 日（火）から 19 日（金）まで、CEATEC JAPAN 2018 が幕張メッセで開催され、当会もトータルソリューションエリアにブースを設けて広報普及活動を行いました。

CEATEC JAPAN 2018 は、「CPS/IoT の革新技术が集結する総合展示会」として、「つながる社会、共創する未来」を開催テーマに、IT・エレクトロニクスに加えて、銀行、小売業界など CPS/IoT を活用する幅広い業種・産業の 725 団体（出展小間数 1,786）が参加しました。



CEATEC JAPAN 2018 ARIB ブースの様子

ARIB ブースにおいては、以下の出展、紹介を行い、電波関係のビジネスに係る多くの方にご来訪いただきました。

(1) ARIB の概要、研究開発活動、国際協力活動について、パネル展示による紹介

(2) 第 29 回電波功績賞を受賞した技術やシステムについて、スライドショー、デモ展示(今回は TOTO(株)様、(株)日立国際電気様にご協力いただきました)による紹介

また、熱心にご見学いただいた 394 名の方にアンケートにもご協力いただき、ARIB 非会員の企業・団体の皆様には、ARIB の案内パンフレットなどを配布して、ARIB にご入会いただいた場合の特典などを説明しました。

ARIB ブースへのご来場、心より感謝申し上げます。

CEATEC JAPAN 2018 来場者数と、ARIB ブースでのアンケート実施者数

	10 月 16 日(火)	10 月 17 日(水)	10 月 18 日(木)	10 月 19 日(金)	合 計
CEATEC JAPAN 2018 来場者数	35,594	33,670	40,321	46,478	156,063
ARIB ブース アンケート実施者数	61	110	113	110	394

(参考： CEATEC JAPAN 2017 来場者数は、152,066 人)

第 5 世代移動通信システム(5G)国際ワークショップ 2018 を開催

世界の各国地域において、2020 年の実現を目標とした第 5 世代移動通信システム（以下、5G という）に関する調査研究が活発に行われています。医療、教育のような様々な産業分野において 5G を利用する全く新しいモバイルサービスの導入が期待されています。

このような中、10 月 17 日（水）、千葉・幕張メッセ国際会議場にて、CEATEC JAPAN 2018 コンファレンスのプログラムとして、総務省主催、第 5 世代モバイル推進フォーラム(5GMF) 共催による「5G 国際ワークショップ 2018」が開催されました。会場が満席となる来場者（500 名以上）が参加し、大盛況となりました。

今回は「5G パートナー連携の最前線」をテーマと題し、セッションにおいて 5G に向けた総務省の取り組み、携帯電話事業者によるパートナー連携に関する取組、海外や地域におけるパートナー連携の取組の事例について講演いただきました。

またパネルディスカッションには、国内外の学識経験者および地域におけるパートナー連携に取り組んでいるプロジェクト代表者パネリストとして招かれ、5G のパートナー連携の拡大に向けた展望等について、熱い意見交換が行われました。



5G 国際ワークショップ 2018 の様子

開会にあたり、総務省の鈴木総務審議官からご挨拶をいただいた後、本ワークショップ組織委員会の吉田 進委員長（京都大学 名誉教授）から基調講演が行われました。

それに続いて、「2020 年の 5G 実現に向けた取組み」と題したセッション 1 では、総務省新世代移動通信システム推進室長の中里学氏から「5G Initiatives in Japan」の演題で 5G の総合実証試験、技術的条件、周波数の割当、5G 利活用アイデアコンテストなど、総務省による取組み概要が紹介されました。



総務省
総務審議官
鈴木 茂樹 氏



5GMF 会長
京都大学 名誉教授
吉田 進 氏



総務省
新世代移動通信システム推進室長
中里 学 氏

「携帯電話事業者におけるパートナー連携に関する取組み」と題したセッション2では、NTTドコモ ソリューションサービス部長の三ヶ尻哲也氏から「DOCOMO'S Approach to the 5G Era - Collaboration with Partner Companies -」と題して5Gトライアルサイト、DOCOMO 5G Open Lab、DOCOMO 5G Open Cloud および Open House 2018 などの取組み概要が紹介されました。また KDDI の松永彰氏からは「Creating New Experience by 5G with partners」の演題で5Gを用いた社会問題、わくわく体験の追及、地域創生、デジタルトランスフォーメーションに関する取組み概要が紹介されました。セッション2の最後に、ソフトバンクの船吉 秀人氏から「“5G x IoT Studio” and Co-creation」と題して、5Gの核となる技術、実証試験、Open “5G x IoT Studio”、デモによる5Gを感じる取組みなどの概要が紹介されました。



NTT ドコモ
ソリューションサービス部長
三ヶ尻 哲也 氏



KDDI
モバイル技術本部ディレクター
松永 彰 氏



ソフトバンク
先端事業企画部長
船吉 秀人 氏

セッション3では「地域におけるパートナー連携の取組み」と題して、欧州の取組について、Ericsson 社の Dr. Håkan Ohlsén から「5G Industry and Spectrum」と題して、2023年における市場予測、世界各国のパートナーとの連携、インダストリー4.0、5G周波数などの取組み概要が紹介されました。韓国の取組について、Dankook University の Prof. HeyonWoo Lee から「5G Global Collaboration and Vertical Trials in Korea」と題して、5Gフォーラム、5Gバーティカルサミット、海外のフォーラムとのコレボレーションや多国間の枠組みを使った活動、周波数オークション、市場予測、5G Convergence タスクフォース等の取組み概要が紹介されました。インドネシアの取組について、Telkom University の Associate Prof. Khoirul Anwar から「Indonesia i5GF: Contributions and Cooperations on 5G for Regional/Local Impacts」と題して、5Gサービスとトライアル、パートナー連携、インドネシアに合ったチャネルモデル、5G周波数、衛星との共用 自然災害、交通渋滞対策などの取組み概要が紹介されました。会津若松の取組について、会津若松市企画政策部長の高橋智之氏から「“Visualization” of Sake production process by data」と題して、本取組みを始めた背景、稲の生育分析、醸造工程のデータ化、5G & IoTに対する期待等が紹介されました。徳島の取組について、株式会社プラットイーズ 取締役会長の隅田徹氏から「5G サテライトオフィス ～徳島県神山町から～」と題して、えんがわオフィス「蔵」開設の背景、プラットイーズ社での働き方、移動するサテライトオフィスの取組み概要が紹介されました。セッション3の最後に、モデレータの三

瓶政一教授から「労働力が減る中で、社会を維持していくために、5G を活用したパートナーとの連携やコスト設計等が重要となる。」との総括が行われました。



欧州の取組
Ericsson
Dr. Håkan Ohlén



韓国の取組
Dankook University
Prof. HeyonWoo LEE



インドネシアの取組
Telkom University
Assoc. Prof. Khoirul Anwar



会津若松の取組
会津若松市 企画政策部長
高橋 智之 氏



徳島の取組
(株)フラットイーズ 取締役会長
隅田 徹 氏



モデレータ
大阪大学 教授
三瓶 政一 氏

最後にパネルディスカッションを開催し、セッション 3 の講演者とモデレータを務めて頂いた三瓶政一大阪大教授にパネリストとして参加頂き、NTT ドコモ執行役員の中村武宏氏がモデレータを務め、「5G パートナー連携の拡大に向けた展望」をテーマとして、バーティカル産業や海外の 5G パートナーとの連携における課題等について、意見交換が行われました。

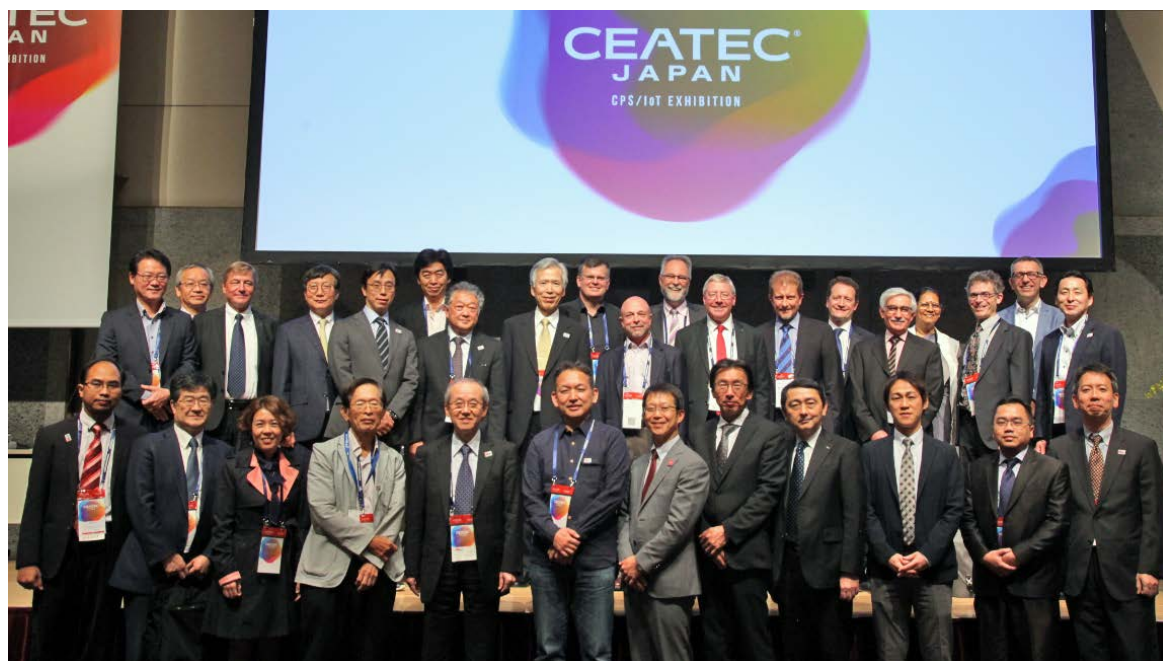


モデレータ
中村 武宏 氏



パネリストの方々

モデレータの総括として、「5G を知らない業界へ 5G プロモーションを促進し、成功事例を共有していくことが重要。各国で 5G を活用した地域に根差した産業振興の枠組作りが、現在進行中の段階である。海外との連携については、ワークショップ等での意見交換が活発に行われているが、バーティカル産業も巻き込んだ議論を促進すべき。」として締めくくられました。



終了後に行われた、登壇者・関係者による記念撮影

第 23 回理事会の報告

10 月 16 日（火）、当会会議室において第 24 回理事会が開催され、「規程類の整備について」等について審議、事務局提案のとおり承認され、滞りなく終了しました。

第 24 回理事会において、承認された事項の概要は、次のとおりです。

1 規程類の整備について

照会相談業務として、携帯電話基地局と衛星地球局との間の 3.5GHz 帯周波数の共用検討を実施するため、照会相談業務規程の一部改正が承認されました。

2 正会員が分社化した場合の会員資格の取扱いについて

分社化後の各分社会社(完全子会社)についても正会員としての資格を継続するため、「分社化による分社会社の会員資格の一体的取扱いの特例」が承認されました。

3 報告事項

理事会決定に基づき会長に一任された入会承認等の実績報告等が行われました。

テラヘルツ調査研究会 第 5 回会合を開催

テラヘルツ波通信／センシングシステムの早期実用化に向け、開発課題、周波数要件、制度課題などを広く調査研究することを目的とするテラヘルツ調査研究会の第 5 回会合が、10 月 18 日（木）に開催されました。

第 5 回会合においては 24 名が参加し、WRC19 関連の最新動向確認、テラヘルツ帯無線送受信機器の実現事例再確認と実用化に向けた課題の共有を行うとともに、予め選定したテラヘルツ通信の代表的ユースケース 2 種（「チップ間・ボード間通信」と「ドローンー地上間通信」）について、目標仕様、期待市場規模、制度課題等の整理を進めるべく、活発な議論が展開されました。次回会合は 12 月上旬に開催予定です。

今週の ARIB 内会合（10 月 22 日～10 月 26 日）

10 月 23 日（火） 4K8K ファイルフォーマット JTG

10 月 24 日（水） 第 268 回技術委員会（通信）

10 月 26 日（金） EMCC 周知啓発 WG

今週の国際会合（10 月 22 日～10 月 26 日）

10 月 24 日（水）～10 月 26 日（金） CJK IT Standard Meeting 第 17 回会合（CJK-17）

総務省からのお知らせ

電波利用環境委員会報告（案）に対する意見募集
— 「国際無線障害特別委員会（CISPR）の諸規格」のうち
「マルチメディア機器の電磁両立性 -イミュニティ要求事項-」 —
【平成 30 年 10 月 17 日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会（主査：多氣 昌生 首都大学東京システムデザイン学部教授）は、「国際無線障害特別委員会（CISPR）の諸規格」のうち「マルチメディア機器の電磁両立性 -イミュニティ要求事項-」について委員会報告（案）を取りまとめましたので、平成 30 年 10 月 18 日（木）から平成 30 年 11 月 16 日（金）までの間、以下の要領で意見を募集いたします。

詳細については [【平成 30 年 10 月 17 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

ーIoT、AI によるビジネスイノベーションを推進する資格にチャレンジ！ー
MCPC「第5回 IoT システム技術検定(中級、基礎)」のご案内

「IoT システム技術検定」は IoT システム構築・活用に関する知識を中心に其の習熟度を検定することで IoT システム構築に関係する技術者の対応力向上を目的にしています。

検定はクラス別に基礎、中級検定と体系化し、それぞれを総合的な技術レベルを判定する資格制度です。IoT システム技術検定は 2016 年 12 月に第 1 回を開始し、既に 5,000 人以上の方が受検しています。多くの企業様から IoT 人材育成にご活用いただき「取得推奨資格」として認定され業界標準資格として位置づけられております。皆様の資格取得への挑戦を期待しております。

【実施日時】 2018 年 12 月 1 日 (土)

中級検定 9:50~11:20

基礎検定 9:50~10:50

【開催場所】 東京、横浜、名古屋、大阪、札幌、仙台、さいたま、広島、福岡

【受検料】 中級検定：12,900 円 (税込) ARIB 会員様は割引価格となっております。

基礎検定：10,800 円 (税込)

【申込期間】 2018 年 9 月 21 日 (金) ~ 11 月 12 日 (月)

◆お申込みは Web から！

<http://www.mcpc-jp.org/iotkentei/jyukuken.html>

モバイル&IoTで飛躍する MCPC モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階 http://www.mcpc-jp.org/	検定・講習会のお問合せは MCPC検定事務局 TEL.03-5401-1735 FAX.03-5401-1937 e-mail:msec@mcpc-jp.org
---	---

編集後記

CEATEC JAPAN 2018 では、今までになかった銀行、コンビニエンスストアや生活関連企業なども展示会に参加・出展していて驚いた次第です。AI や IoT の技術が進み、映画の中でしたか味わえなかった世界がもうすぐ実体験できる世の中になっていくのかなぁ~と感じました。

(y.s)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp